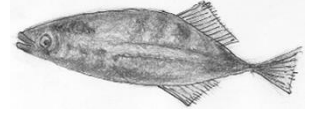


くまがや市民ネット準備会通信



生活クラブ運動の立ち上げ支援を受けています。

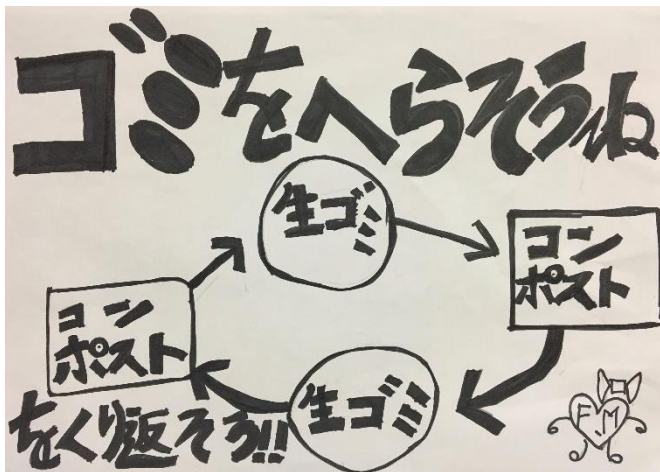
2022年4月25日発行 第4号

熊谷市に生活者の声を届けようと準備をするのもあと1年となりました。コロナ禍が続いてはいますが、これからは2か月に1回は準備会通信を発行することにしました。

ダンボールコンポストを みんなでやりたい！

昨年夏に開催された「ダンボールコンポスト講座」へ子ども達と一緒に参加し、家族で始めました。生ゴミが分解され消えていくのがおもしろい！ ゴミ出しの量が確実に減った！ 堆肥がうまく出来上がった！ 堆肥を庭の畑に撒いて、これから野菜を育てるのが楽しみです♪

その様子を小3の娘が自分で資料を作り、学校で発表しました。”一人ではなかなかゴミが減らないけど、学校のみんなでダンボールコンポストをやったらゴミが減って地球がきれいになる”という娘の発表はとっても素晴らしかったです。一人一人が関心を持って楽しく取り組むことで、子ども達の未来と地球を守ることに繋がりますね。一緒に始めてみませんか？ (深作)



娘さんの思いがこもった絵

都市計画マスタープラン市民説明会 の参加報告

自分の住む街のことを知りたいと思い、12月に熊谷市都市計画課で開催された市民説明会に参加しました。説明を受けても高齢者はどう暮らすのか、子どもたちが将来暮らしたい街になるのか、誰かが取り残されないか疑問がわきましたが、熊谷市の各地域の特徴を生かした街づくりの壮大な計画を知ることができたと同時に、自分の子どもや孫にとっても住みたい街であって欲しいと切に思いました。

若い世代を含む私達大人がしっかり考え、意見を出し合い、みんなでつくりあげていくことが大切だと思います。暮らしに関わる市政や政治をもっと身近に感じてみんなで関わっていけるよう、話し合える仲間が増えて欲しいです。

(深作)

持続可能な農業

飢えから逃れるために第2次世界大戦後、多くの国々は合成肥料や農薬を大量につかいました。農業技術も農機具も格段に発達して作物の大量生産に貢献し、今に至っています。でも、NGO農薬監視行動国際ネットワーク・アジア太平洋(PANAP)によれば「革新的な農法を全て否定しないが、各地域の風土に根差した農家の知恵は継承されなければならない。私たちは環境破壊や気候危機に真剣に取り組む時代に直面している。家族などの少人数でやる農業こそ環境をまもり、健康に良い作物を育てる」とのことです。私もその通りだと思います。

さて、毎週金曜日、熊谷市の万吉(まげち)で畑仲間が農作業をしています。吉岡中学校の近くです。どなたでも大歓迎。土に触れにいらっしやいませんか。(清水)

一般質問の傍聴に行ってきました。

3月定例会での市政に関する一般質問を傍聴しました。

その中で健康寿命を延ばすまちづくり、熊谷市高齢社会基本計画における基本理念実現のための施策、現状と課題について興味関心を持ちました。

ちなみに国の高齢社会対策基本法は1995年11月議員立法により制定されました。これを受けた高齢社会対策大綱に様々な施策が盛り込まれ、若者や女性の就労や子育て施策を進めすべての国民が経済活動に参加できる社会づくりに取り組むこととされ、また初めて数値目標も導入されたとのことです。

熊谷市でめざす将来像は「いきいき安心、元気で長寿のまちくまがや」とされています。熊谷市の高齢対策基本法の柱は3つあり、「みんなに優しい福祉のまちくまがや」を目指すとのことです。見守りネットワークの現状6事業者との協定を今後増やすこと、高齢者の交通手段については公共交通の再編、福祉サービスシルバーガイドを相談業務に活用し周知を工夫することなどが分かりました。

傍聴すると市長の取り組み姿勢や質問する議員の考え方などがわかり、また一市民として基本的なことを調べたりすることで関心をさらに深めることにつながると感じました。(金内)

かたるべ会報告

これからどんな熊谷市にしたいか、「ハチドリくらぶ」、「熊谷のこどもと食の未来をつむぐ会」、「在宅ライフ倶楽部」という市内の3つの団体と別々に「かたるべ会」(意見交換会)をしました。そこでのご意見は、今後の活動に参考になるものでした。

- ・高齢者等の移動手段に困っている。
- ・学校給食が全てセンター方式に変わる計画になっているが自校式にしたい。自校式とセンター式でどのくらい費用がかかるか不明確になっている。
- ・公共施設削減は問題だと思っている。
- ・女性差別の問題がある。
- ・困難な状況でも生きていける仕組みが必要。
- ・公務員を減らすと災害時が不安。
- ・市民の意見を提出する場がない。
- ・給食と中学校の統廃合も一緒に考えていきたい。

(東)

会員になってください!

毎日の食べ物、子どもの教育、ゴミの問題、医療や介護の問題、長時間労働など私たちは様々な不安や疑問を抱えています。そうした声を熊谷市に届けたいと私たちは活動しており、一緒に取り組んでいただける方を募集中です。できる範囲で構いません。お気軽に欄外の連絡先までお問合せ下さい。

アンケートのお願い

くまがや市民ネットワーク準備会では、熊谷市にゆかりのある方に、熊谷市がこんな風になってほしいとか、ここに問題を感じているなど自由なご意見を募集しています。右の二次元コードのリンク先、あるいはメールで送っていただくか、以下の欄にご記入の上でFAXしてください。



(FAX用) 宛先:050-3737-3422

希望する熊谷市の将来像や問題、不安を感じていることを自由にお書きください。

よろしければ連絡先をお書きください。氏名: _____

電話番号: _____ メールアドレス: _____

連絡先:メール:higashi@ja2.so-net.ne.jp

電話:070-5551-7734(ひがし)